# 氾濫モデル用空間データ研究グループ

氾濫解析モデル構築のための精密3次元空間データ作成プログラムの開発研究です

### 洪水氾濫解析の精度向上

3つの視点から精度向上を図る

地形情報

氾濫解析モデル構築

結果処理

### 計算結果の確認と見せ方

氾濫状況を時系列表示

2次元、3次元による氾濫状況の表現

#### 氾濫原の地形状況が正確

細かなメッシュ地盤高の対応

1/2500地形図の利用

等高線、道路高等地盤高デジタル情報整備の効率化

氾濫解析モデル構築時に設定 する地盤高入力の柔軟性

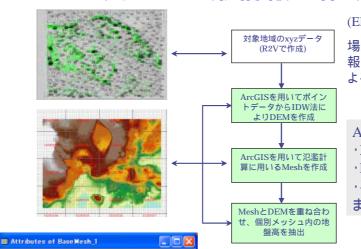
#### 氾濫原の境界条件の入力

境界条件とメッシュとの対応が容易

氾濫解析モデル図の作成

氾濫解析モデル変更等やり直し作業 、の効率化

## ArcGIS を用いた地形情報の作成



(ERMapperと同様)

場所によっては直接地形図から地形情報(等高線など)を抽出可能(手作業によるトレース作業を省くことができる)

#### ArcGISにより、

- ·XYZデータからPointデータの作成
- ·PointデータからDEMの作成
- ・平均地盤高の計算
- まで一貫して計算可能

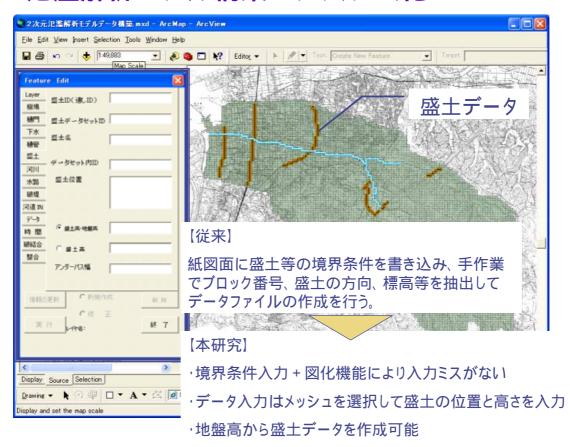
rd 14 4

ArcGISを用いて処理

0 + +1 Show All Selected

- ・従来に比べて飛躍的に作業効率が向上
- ・精度は1/2500地形図の地盤高情報
- ・地盤高作成までの操作性が格段に向上 (XYZファイルがあれば1/2.5万地形図10枚分を2時間 程度で完了)
- ·任意のMeshサイズに対応

## 氾濫解析モデル構築のシステム化



### 氾濫解析結果表示

